

日本海洋学会 2016 年度第 1 回幹事会議事録

日時：2016 年 3 月 14 日（月）18:00～21:00

会場：東京大学本郷キャンパス理学部 1 号館 3 階 331 号室

出席：日比谷会長、神田副会長、石坂、市川、伊藤、小埜、小畑、川合、河野、齊藤、鈴木、山中、事務局毎日学術フォーラム（小野、平坂）

議題

1. 審議事項

（1）議事録承認（川合幹事）

2015 年度第 7 回幹事会議事録案を承認した。

（2）2015 年度事業報告について（小畑幹事）

評議員会ならびに総会で報告する 2015 年度事業報告を確認し、一部修正の上承認した。

（3）2016 年度事業計画について（小畑幹事）

2016 年度事業計画を確認し、承認した。

（4）2015 年度決算書および 2016 年度予算案（齊藤幹事）

2015 年度決算報告書、貸借対照表、財産目録を確認し、承認した。会費の納入率が 100% を超えているのは未納分の支払いがあったためであること、2014 年度若手助成の戻り金があったこと、貸借対照表に計上されている「前払費用」は、会誌送料の一部前払い金であることが説明された。また、3 月 7 日に監査が行われたことが報告された。

2016 年度予算案について、JpGU への寄附金を追加したこと、会員情報管理 WEB システム初年度費用を追加したこと、WEB システム導入により名簿発行費を 80 万円に減額したこと、会誌送料を前年度並みに変更したことが説明され、承認した。大会カード決済の契約更新 2 万円は雑費に含まれていることを確認した。

（5）2016 年度前期若手海外渡航援助の採択について（神田副会長）

若手海外渡航援助に対して 5 件の応募があったことが報告された。全員から業績リストを提出してもらった後に再度審議に諮ることとなった。また、次回募集からは応募書類に業績リストを含めることとした。

（6）2016 年度若手集会助成の募集について（神田副会長）

若手集会助成の応募要項を確認し、承認した。

(7) 青い海助成事業審査結果について (鈴木幹事)

2016年度青い海助成事業について、海洋環境委員会から2件の推薦があり、承認した。

(8) 春季評議員会議事次第案および通常総会議事次第案について (小畑幹事)

春季評議員会議事次第案および通常総会議事次第案を確認し、一部修正の上、承認した。

(9) JO編集委員について (石坂編集委員長)

JOの新編集委員として Valle-Levinson氏が推薦され、承認した。

2. 報告事項

(1) 会長 (日比谷会長)

2017年度春季大会を JpGU 大会と合流して開催することについて、合同シンポジウムを3月に開催することを検討しており、水産海洋学会、日本水産学会、日本プランクトン学会などの関連学会に打診したことが報告された。

(2) 研究集会 (鈴木・山中幹事)

2016年度秋季大会について、大会実行委員会からのセッションの募集、幹事会からのシンポジウム等の募集が開始されたとの報告があった。

2017年度秋季大会実行委員会候補より、会場や参加費に関する問い合わせがあったことが報告された。プレナリ講演や受賞記念講演のための広い会場の確保が困難ということから、日程の一部のみ広い会場を確保する、遠隔放送により複数会場で視聴可能にするなどの案が出され、実行委員会候補に伝えることとなった。また、最終的な判断は実行委員会候補に任せることとなった。

(3) 広報委員会 (小埜幹事)

セッションハイライトをプレスリリースしたところ、既に何件かの問い合わせがあった。プレス関係者からは、要旨を買いたいという要請もあり、大会実行委員会から販売することが報告された。また、入会者を募るため、春季大会会場に学会パンフレットと入会案内を置いていることが報告された。

(4) 日本地球惑星科学連合 (日比谷会長)

2017年度大会の会場が幕張メッセに決まったこと、代議員選挙があり、日本海洋学会からの候補者が全員当選したこと、うち日比谷、原田両会員が理事に当選したことが報告された。

(5) 震災対応 (神田副会長)

1月に発足した防災学術連携体に日本海洋学会が参加していることについて、学会ウェブサイトに記載されていないことが指摘され、掲載することとなった。

(6) その他 (小畑幹事)

日本海洋学会 70周年記念誌の残り 140部について、春季大会中の新規会員への配布、JpGU大会におけるブースでの配布を行うことが報告された。

次回幹事会：未定